下関医療センター 広報誌

馬関医心

ばかんいしん

vol.12
2017
新年号

I N D E X

（第3回）3つのステップ …… P2
職場体験 …… P3
機能評価認定証
「下関医療センター健康フェア 2016」報告書 …… P4
ふくの会NEWS　No.27 …… P5
クリスマスコンサート …… P6
今後の病院行事のご案内

PHOTO／白鳥

【理　　念】
最新の知識と医療レベルを駆使して、
地域住民に誠心誠意奉仕します

【基本方針】
1. 病める人の立場に立ち全人的医療を実践します
2. 地域連携を推進し、地域に密着した医療を展開します
3. 良質・最新の医療を提供するため、日々の研鑽と
人材育成に努めます

独立行政法人地域医療機能推進機構
下関医療センター

郵便番号750-0061 下関市上新地町3丁目3番8号
TEL.083-231-5811（代表） FAX.083-223-3077
TEL.083-231-7887（健康管理センター）
TEL.083-233-7850（介護老人保健施設）

「治験」の３つのステージ（段階）

治験とは、「くすりの候補」を厚生労働省から「くすり」として認めてもらうために行われる、人での効果（有効性）や副作用（安全性）を調べる試験のことで、3つの段階（第Ⅰ相、第Ⅱ相、第Ⅲ相）に分けて進められます。治験には研究的な側面がありますので、専門の医師が安全に十分配慮して、細心の注意を払いながら行います。

治　験

基礎研究 ▶ 動物で試験 ▶

第Ⅰ相：健康な人で

少数の健康な人にご協力いただいて、ごく少量から少しずつ「くすりの候補」の量を増やしていき、安全かどうかを調べます。
また、「くすりの候補」がどのくらい体内に吸収され、どのくらいの時間で体外に排泄されるのかについても調べます。

第Ⅱ相：少数の患者さんで

少数の患者さんにご協力いただいて、本当に病気を治す効果があるのか、どのような効き方をするのか、副作用は許される範囲か、どういう使い方をすればよいのかを調べます。

第Ⅲ相：多数の患者さんで

多数の患者さんにご協力いただいて、効果があるかどうか、安全かどうかの最終的な試験を行います。

▶ 厚生労働省に承認申請

治験では、体に現れた変化が「くすりの候補」の副作用かどうかを見きわめるため、プラセボ（有効な成分が入っていない、見た目や味などの点で「くすりの候補」と区別がつかないもの）を同時に使って比較することもあります。

以上の3つの段階を終了したところで、「くすり」を開発している製薬企業がそれらのデータを全てまとめて厚生労働省に「くすり」として認めてもらうよう申請します。厚生労働省の厳正な審査をパスし、承認されることによって初めて、「くすりの候補」が「くすり」となるのです。

次号では“治験のルール”についてお伝えいたします。

現在、当院では、新しい「くすり」を開発するために必要な「治験＊」を実施しております。
詳しく知りたい方は、当院ホームページをご覧下さい。

ホームページアドレス　**http://shimonoseki.jcho.go.jp**

＊治験…「くすりの候補」を国（厚生労働省）から「くすり」として認めてもらうために行われる、人での有効性や安全性を調べる試験のこと。

子供の職場体験を通して

11月22日に勤労感謝の日の取り組みとして、ドルフィンキッズの子供たちが、お父さんとお母さんのお仕事をする姿を見学しました。

いつもと違うお父さん、お母さんの姿にドキドキしながらも、目を輝かせていました。

西５病棟　看護師　木村聖子

目を輝かせ、「かっこよかったね。」
保育園に迎えに行くと息子からの第一声でした。
いつも仕事が忙しく、なかなか、息子にかまってあげられず罪悪感を抱いていましたが、その言葉を聞いて少し気持ちが軽くなりました。

手術室　看護師　大隈元喜

手術室の中まで見学に来るということで、怖がって泣くのかなと思いましたが、子供たちみんな目をキラキラさせて興味津々だったのが印象的でした。また来年も来て欲しいです。

西６病棟　看護師　石本知子

「お母さんかっこいい！」と目を輝かせて話す子供を見ると、この仕事をしていて良かったなと思えた瞬間でした。

病院機能評価に合格致しました

院長　佐々木　功典

昨年８月に受審致しました病院機能評価審査結果の報告書が12月２日付けで届きました。新しい規格である3rdG：Ver.1.1の認証を得る事ができました。当院は５年前に最初の認定を受けており、今回が２度目の認定となります。長期にわたって受審にご尽力いただきました職員並びにご指導・ご支援を賜りました関係各位にはこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。JCHO下関医療センターチームとしての合格であり、高い質の医療サービスを提供している病院として公的に認証されたことは院内外に誇れることだと思っております。

病院サービスの更なる向上には、不断の改善が必要です。これからも当院には急性期病院として職員一人ひとりに一層の研鑽と病院としてのチームワークが求められます。皆様には引き続きご指導・ご鞭撻賜りますよう宜しく御願い申し上げます。

認　定　証
Certificate of Accreditation
独立行政法人地域医療機能推進機構
下関医療センター
☆☆
公益財団法人　日本医療機能評価機構

「下関医療センター健康フェア 2016」報告書

サービス向上委員会・健康フェア部会

当院を市民の皆さまによりよく知って頂こうと、昨年に引き続き院内での開催となりました。平成28年10月29日（土）９時30分好天に恵まれ、２階の外来会場はほぼ満席状態となりました。市民公開講座は、皆さん関心の高い「健康寿命のおはなし」から、健康寿命を阻害する「認知症のおはなし」そして防止のための「家庭でできる運動遊び」と３部構成で、つながりをもって聴いて頂きました。運動遊びでは掛け声とともに一緒に体を動かして、一体感も生れました。

市民公開講座

1.「健康寿命のおはなし」　副院長　山下　智省

2.「認知症のおはなし」　脳神経内科部長　加藤　幹元

3.「健康寿命をのばす為の家庭で出来る運動遊び」　健康運動指導士　野村　浩司

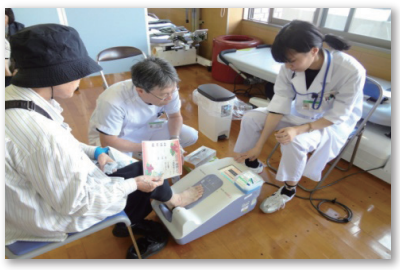
山下副院長

加藤脳神経内科部長

野村運動指導士

その後の健康チェック・体験コーナーでは、講演会場からの引き続きで126名の方が来場されました。各種測定コーナー、健康相談、保健所と共催の肝炎チェック等それぞれに行列ができ盛況でした。

来場者のアンケートでは、「初めて参加させて頂きました。身近に感じられ、病院の中での開催はよかったです。」「若い頃に比べると確実に体力が落ちているので、健康チェックができるこういったフェアは、どんどん行って欲しいと思います。」「初めて運動療法を体験して参考になりました。これからも知らないことをたくさん勉強したいと思います。」といった声を多く頂きました。来年も市民の皆さまに、喜ばれお役に立てる健康フェアを開催できるよう頑張りたいと思います。



骨密度測定

血圧測定

肝炎検査

独立行政法人地域医療機能推進機構
下関医療センター

ふくの会　NEWS

No.27
下関医療センター「ふくの会」発行　2017/1/1

野村健康運動指導士

寒くても体は動かすぞ！運動教室を開催しました！

去る12月3日（土）「ふくの会」で運動教室を開催しました。講師は野村健康運動指導士です。
テーマは**「寒くても体を動かすぞ！」**とし、約40名で和気あいあい楽しく運動を行いました。

さあ、運動教室の始まりです！
まず最初に、**椅子に座ってストレッチや足を上げるレジスタンス運動**を行いました。
これなら、自宅でも気軽にできそうですね。

次に、**ウォーキングやスロージョギング**を行いました。皇后陛下もされているというスロージョギングは、人が歩く速さで走るのが特徴です。初めて体験された方も多かったのではないでしょうか。
これを機に、運動の習慣をつけてみませんか？

最後は枠に合わせて**ステップ運動**を行いました。
毎回ステップが変わるので難しかったですね。間違えても平気平気！あちらこちらで大きな笑い声が起きていました。
盛りだくさんであっという間の一時間半でした。

**運動前後は、毎回恒例の血糖測定を行いました。
皆さん、血糖値の変化はいかがでしたか？寒い中お疲れ様でした！**

**「ふくの会」では今後も息の長い活動を行っていきます。
ご協力宜しくお願いいたします。**

クリスマスコンサート

12月16日、一足早いクリスマスコンサートが正面玄関前ホールで行われました。
今年は下関文化振興財団の地域講演として、尺八奏者の西先生と琴との演奏でした。
純和楽器とクリスマス・・・いったいどのような演奏になるのか始まる前から楽しみでした。
尺八を吹きながら西先生が登場され、ホールに響くその澄んだ音に会場は一気に吸いこまれたようでした。
軽快な西先生のトークで会場は和み、いよいよコンサートスタートです。
尺八と琴・・・その音色はとても優しく、心地よく、思わずうっとり聴き入ってしまいます。
会場の皆さんも頷きながら、リズムを取りながら、口ずさみながらその音色に聴き入っているようでした。そしてクリスマスソングにジブリメドレーなど、様々な分野の音楽を奏でる尺八にすっかり魅了された様子でした。
続いてはいつも可愛いドルフィンの子供たちの登場です。
その可愛いダンスや歌に会場の皆さんもみんな笑顔になりました。
限られた時間とスペースではありましたが、入院患者さまや外来患者さま、ご家族の皆様など少しでもクリスマス気分になり、暖かい時間をすごせていただけたなら幸いです。
また来年も素敵なクリスマスをみなさまとすごせますように・・・

文責　サービス向上委員 坂田 朋

＊ 今後の病院行事のご案内 ＊

胆のう・膵臓の病気を知ろう ～胆膵疾患の診断と治療～	2/17(金)	講師 肝臓病センター医師　大下 理史
消化器病よろず相談受けます ～消化器病なんでも相談～	3/17(金)	講師 肝臓病センター医師　山下 智省